

2023. **9**
No. **548**

調査月報

県内経済の動向 1

県内主要業界の動向 4

県内経済トピックス 10

主要経済指標 11

駐在員レポート 15

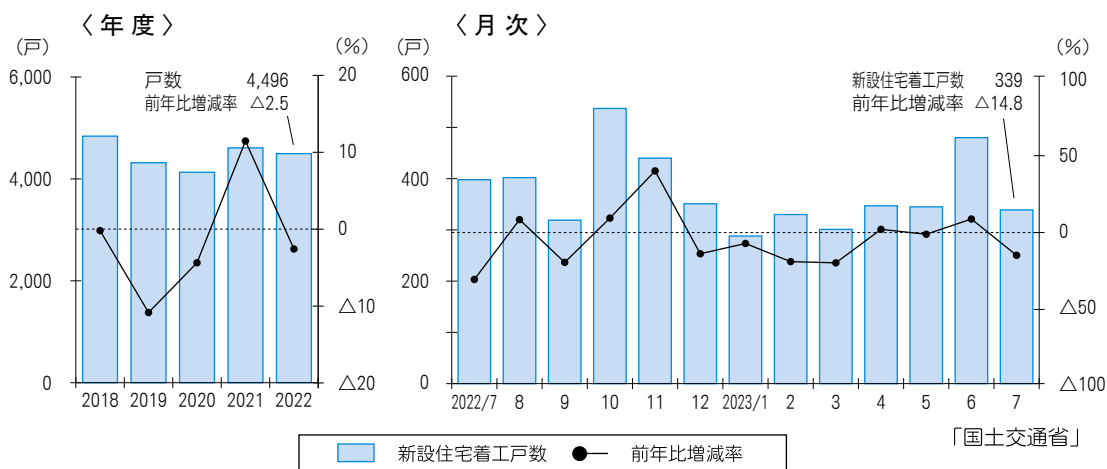


山梨中央銀行

県内経済の動向

グラフでみる県内景気

県内新設住宅着工戸数推移



○ 2023年7月は、339戸で前年比14.8%減となり、2か月ぶりに前年を下回った。住宅着工戸数は、横ばい圏で推移している。

概況

最近の県内景気（7月～8月）は、基調としては緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる。生産面においては、全体として堅調を維持しているものの、機械工業が減少傾向で推移している。需要面においては、個人消費が持ち直している一方、設備投資は慎重姿勢が窺われる。

需要：個人消費は、5類移行後、初の夏休みシーズンとなり、旅行など外出機会の増加に伴い関連消費が活発化したほか、食料品や衣料品も堅調を維持するなど、持ち直している。設備投資は、建築費高止まりの影響もあり、慎重姿勢が窺われる。

生産：機械工業は、最終需要の低迷に伴う生産調整の影響が長期化するなか、減少傾向で推移している。地場産業関連は、国内需要の縮小や原材料価格の上昇など厳しい局面が続いているが、一部に回復の動きもみられる。

消費動向

7月～8月の商況をみると、5類移行後、初の夏休みシーズンとなり、旅行など外出機会の増加に伴い関連消費が活発化したほか、食料品や衣料品も堅調を維持するなど、持ち直し。

7月の乗用車販売は、前年同月比25.7%増（普通車31.8%増、小型車14.7%増）と、7か月連続の前年比増加。

7月の県内観光は、個人向け全国旅行支援終了の反動がみられたものの、夏休み以降は各地で賑わいがみられるなど、全体として入込みは堅調に推移。

建設動向

住宅建設：新設住宅着工戸数（7月）は、前年同月比14.8%減と2か月ぶりの減少。利用関係別でみると、持家（前年同月比3.9%減）が3か月連続の減少、貸家（同38.1%減）が4か月ぶりの減少、分譲住宅（同4.9%減）が3か月ぶりの減少。

公共工事：公共工事保証請負額（7月：東日本建設業保証㈱）は148億96百万円で、前年同月比33.8%の増加。発注者別にみると、国が前年同月比30.9%減少、県が同22.2%減少、市町村が同96.1%増加。

雇用情勢

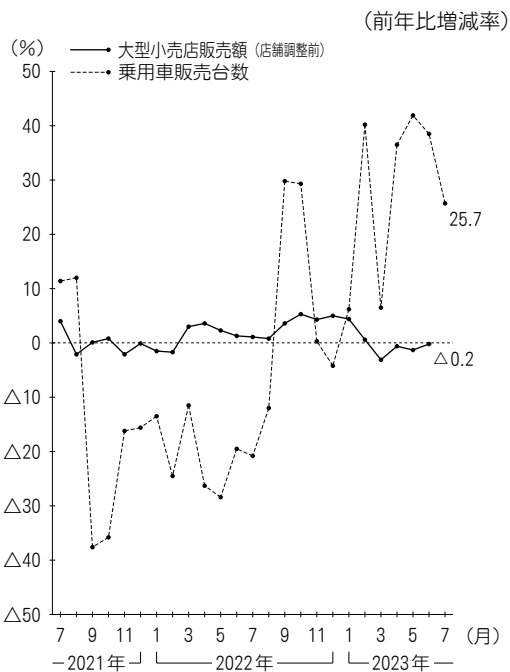
7月の有効求人倍率は1.23倍で、前月と比べて0.04ポイント低下。

新規求人数は、前年同月比11.1%減と3か月連続の減少。産業別では、建設業、生活関連サービス業・娯楽業、教育・学習支援業等は増加、製造業、情報通信業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、学術研究・専門・技術サービス業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉、サービス業等は減少。

企業倒産

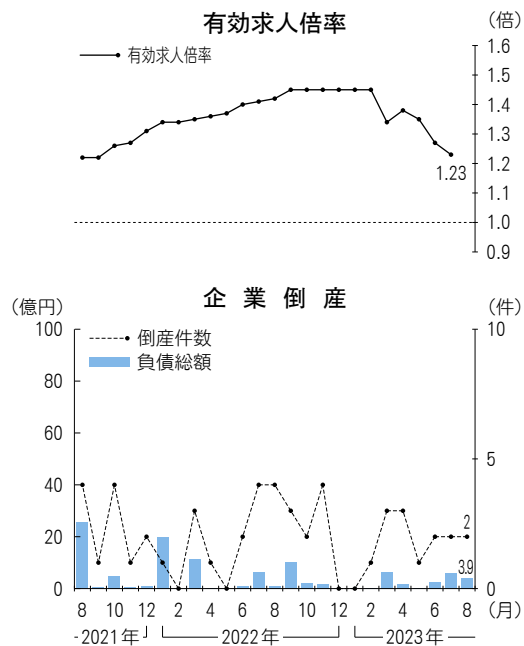
8月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、2件、負債総額は3億89百万円（東京商工リサーチ調べ）。前月と比べて件数は変わらず、負債総額は2億18百万円減少。

大型小売店販売額・乗用車販売台数推移



「経済産業省・山梨県自動車販売店協会」

雇用情勢・企業倒産の推移

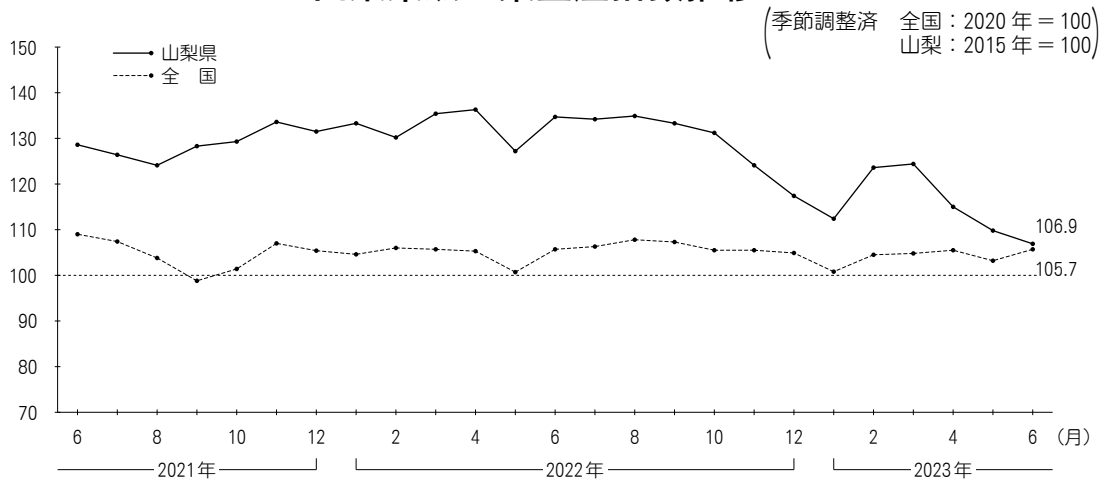


「山梨労働局職業安定部・東京商工リサーチ甲府支店」

生産・出荷動向

- 食 品**：ミネラルウォーターは、出荷が高水準を維持。日常的な生活飲料として定着するなか、記録的な猛暑が追い風となり、消費が拡大。ワインは、出荷が持ち直し。弁当類は、納入先によりばらつきはあるが、総じて出荷が増加。
- ニ ッ ト**：受注面をみると、高品質な国産品の需要が拡大していることを背景に、OEM製品および自社オリジナル製品ともに受注が増加しており、前年を上回る水準で推移。生産面をみると、受注量を反映して、高い稼働率を維持。
- 織 物**：ネクタイ地は、オフィス回帰の強まりや対面でのビジネスシーンの増加など、着用機会が拡大するなか、受注・生産が上向き。紳士服裏地は、受注・生産が横ばい圏で推移。座布団地は、全体として軟調に推移。
- 宝 飾**：高価格帯製品に対する消費者の購買意識は底堅く、百貨店や催事などの店頭向けが堅調に推移し、受注・生産は持ち直し。採算面をみると、原材料価格が高騰するなか、リピート製品などの価格転嫁が難航しており、利幅が縮小。
- 電気機械、情報通信機械、電子部品・デバイス**：コンピュータ数値制御装置関連は、工作機械需要の低迷を背景に受注・生産が弱い動き。水晶振動子は、スマートフォン需要の回復に時間を要しており、受注・生産が低調。コネクタは、在庫調整が進むなかで受注・生産が弱含み。
- 生産用機械**：半導体製造装置は、受注・生産が前年を下回る水準で推移。年度内は停滞が続くとの声も。工作機械は、全体としては受注・生産が弱含み。産業用ロボットは、海外経済の減速懸念から、受注・生産が弱い動き。
- 輸送機械**：自動車部品は、取扱車種や納入先によりばらつきがみられるものの、全体としては受注・生産が上向き傾向で推移。半導体不足の緩和により受注環境が改善するなか、新規案件の引き合いが増加傾向。
- 汎用・業務用機械**：カメラ部品は、旅行など外出機会の増加に伴う需要拡大で受注・生産が持ち直し傾向。医療機器は、品目によりばらつきはみられるが、全体としては受注・生産が安定的に推移。運搬機械は、海外向けを中心に受注・生産が堅調。

山梨県鉱工業生産指数推移

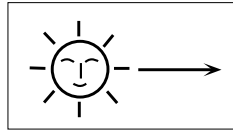


「経済産業省・県統計調査課」

- 6月の鉱工業生産指数は106.9で前月比2.6%の低下。
- 前年比(原数値)では20.6%の低下となり、8か月連続の低下。
- 業種別にみると、電気機械工業、電子部品・デバイス工業、汎用機械工業等の9業種が上昇、食料品工業、情報通信機械工業、その他製品工業等の7業種が低下。

県内主要業界の動向

■ 食 品



ミネラルウォーターの出荷は高水準を維持

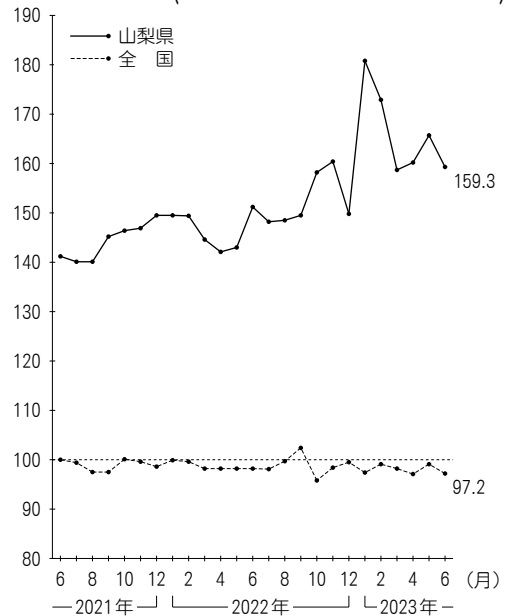
ミネラルウォーターは、出荷が高水準を維持している。日常的な生活飲料として定着するなか、記録的な猛暑が追い風となり、消費が拡大している。需要の拡大を受けて、各メーカーでは、生産力の増強に注力している。

ワインは、出荷が持ち直している。感染症の分類が「5類」に移行し、飲食店に活気が戻るなか、飲食店向けが拡大している。なお、県内ワイナリーでは、新製品開発や販路拡大に積極的に取り組む動きがみられる。

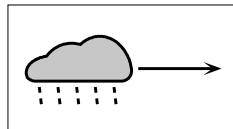
弁当類は、納入先によりばらつきはあるものの、総じて出荷が増加している。特に、旅行者向けについては需要が大きく伸びている模様。

食料品工業生産指数推移

(季節調整済 全国：2020年＝100)
山梨：2015年＝100)



■ ニ ッ ト



高い稼働率を維持

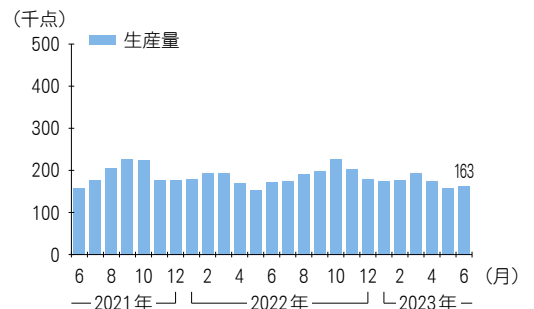
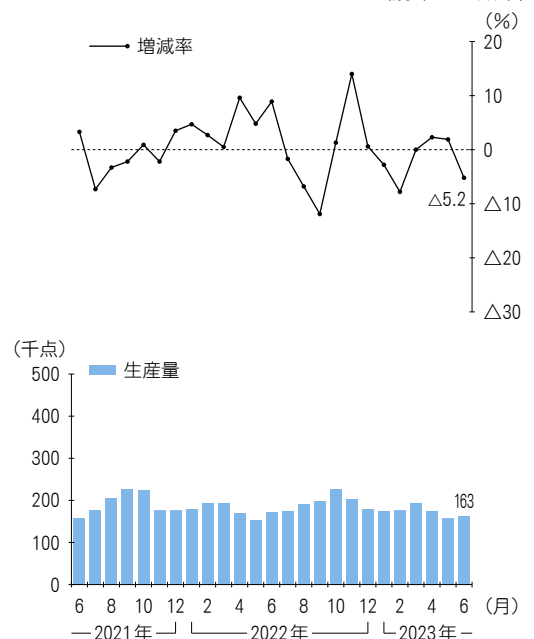
秋冬物の生産が徐々に本格化し、一部で出荷も始まっている。

受注面をみると、前年を上回る水準で推移している。国内の衣料品販売が全体的に伸びているなか、特に、高品質な国産品の需要が拡大している。同分野は当地メーカーが得意としており、OEM製品および自社オリジナル製品ともに受注が増加している。

生産面をみると、受注量を反映して、高い稼働率を維持している。ただし、小ロット・短納期化が進むなか、製造現場では複数の受注を効率的にこなさなければならず、負担が膨らんでいるとの声も。

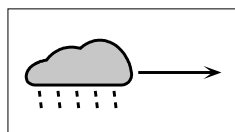
全国ニット製セーター・カーディガン・ベスト類生産推移

(前年比増減率)



「繊維統計月報」

■ 織 物



ネクタイ地は受注・生産が上向き

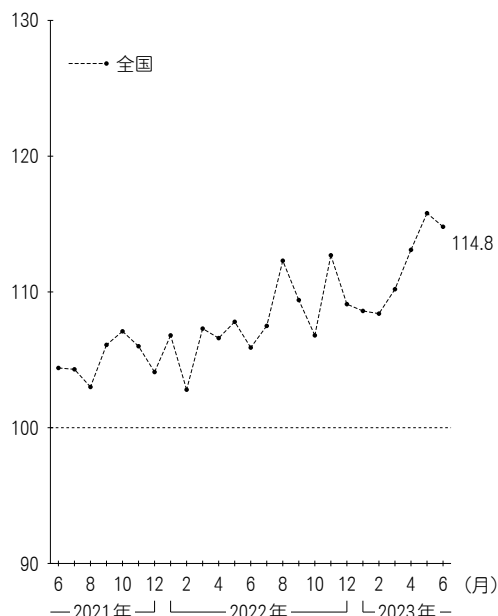
ネクタイ地は、受注・生産が上向いている。オフィス回帰の動きが強まっているほか、対面でのビジネスシーンが増加するなど、着用機会が拡大している。このようななか、県内メーカーへの発注も増加基調で推移している。

紳士服裏地は、ビジネススーツ向けの需要が回復傾向で推移しているものの、素材の供給制約がネックとなり、受注・生産は横ばい圏での推移となっている。

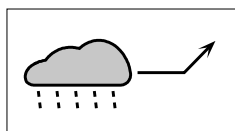
座布団地は、ホテルや旅館向けの入れ替え等により一定量の受注が見込めるものの、和室の減少などを背景に日常的な使用頻度が低下するなか、全体としては軟調に推移している。

織物工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)



■ 宝 飾



受注・生産は持ち直し

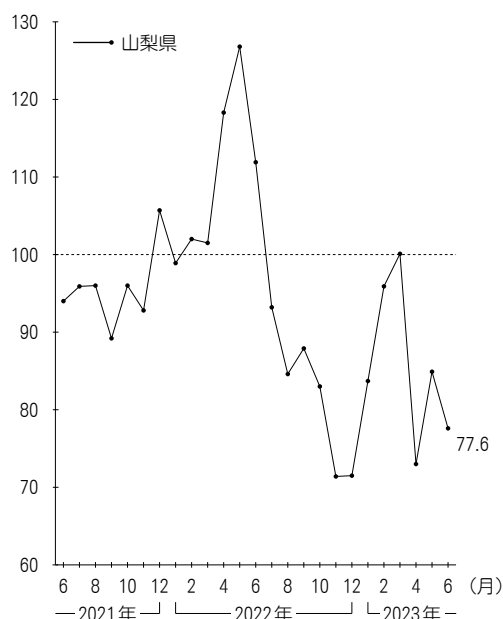
受注・生産は、持ち直している。高価格帯製品に対する消費者の購買意識は底堅く、百貨店や催事などの店頭向けが堅調に推移している。

採算面をみると、原材料価格の高騰により利幅が縮小している。相場連動の原材料は価格転嫁が比較的し易い一方、一定の納入価格設定のあるリピート製品や定番品への価格転嫁は難航している。

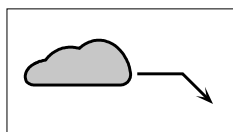
なお、県内メーカーの動向をみると、ブライダル向けの需要を積極的に取り込む動きや海外取引を強化する動きがみられるほか、堅調に推移するテレビ通販やECサイト向け需要の取り込みを強化する動きも広がっている。

貴金属製品工業生産指数推移

(2015年=100、季節調整済)



電気機械 情報通信機械 電子部品・デバイス



水晶振動子の受注・生産が低調に推移

コンピュータ数値制御装置関連は、工作機械需要の低迷を背景に、受注・生産が弱い動きとなっている。

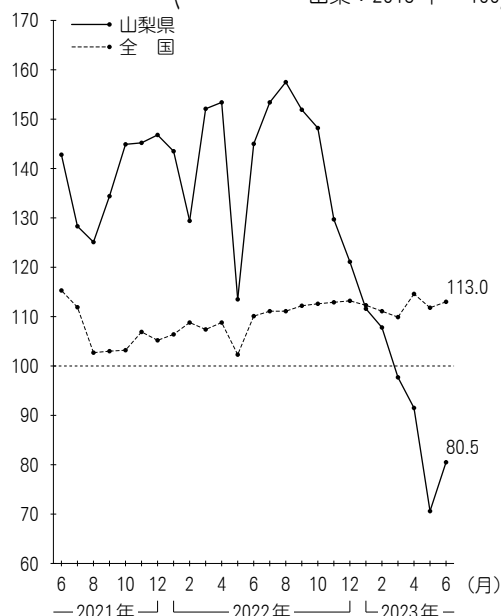
水晶振動子は、主力であるスマートフォン需要の回復に時間を要しており、受注・生産が低調に推移している。

コネクタは、在庫調整が進むなかで受注・生産が弱含んでいる。スマートフォン向けが低調に推移しているほか、車載向け、ウェアラブル端末向けなど全般的に弱い動きがみられる。

IC 部品は、受注・生産が減少傾向で推移しているが、液晶向けなど一部製品については、在庫調整が終息に向かいつつあるとの声も。

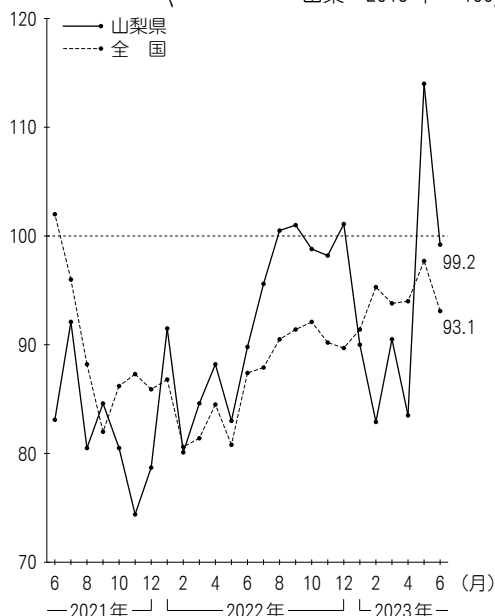
電気機械工業生産指数推移

(季節調整済 全国：2020年＝100)
山梨：2015年＝100)



情報通信機械工業生産指数推移

(季節調整済 全国：2020年＝100)
山梨：2015年＝100)

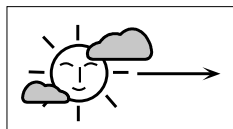


電子部品・デバイス工業生産指数推移

(季節調整済 全国：2020年＝100)
山梨：2015年＝100)



■ 生産用機械



半導体製造装置は前年を下回る水準で推移

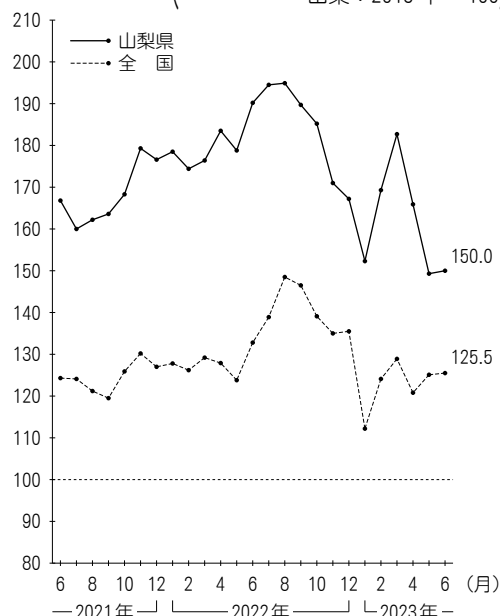
半導体製造装置は、受注・生産が前年を下回る水準で推移している。海外における政策金利の引き上げや景気の減速懸念などによりスマートフォンなど民生品の需要が低迷しており、半導体の調整局面が長期化していることが背景にある。一部に下げ止まりの兆しが窺われるものの、回復に向かうまでの力強さはなく、年度内は停滞が続くとの声も聞かれる。

工作機械は、電気自動車など輸送機械向けで堅調な受注を確保する先もみられるが、全体としては受注・生産が弱含んでいる。

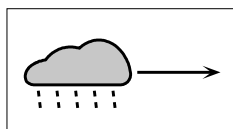
産業用ロボットは、海外経済の減速懸念から、受注・生産が弱い動きとなっている。

生産用機械工業生産指数推移

(季節調整済 全国：2020年＝100)
山梨：2015年＝100)



■ 輸送機械



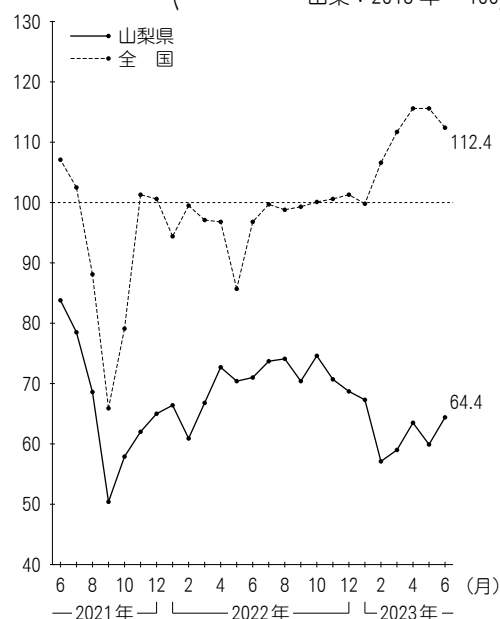
自動車部品の受注・生産は上向き

6月の全国の四輪車生産台数は、前年同月比14.2%増と6か月連続で前年を上回り、車種別では、乗用車が18.9%増、トラックが13.6%減、バスが48.4%増となった。なお、二輪車生産台数は31.5%増となり、3か月連続で前年を上回った。

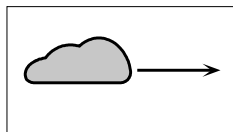
自動車部品は、取扱車種や納入先によりばらつきがみられるものの、全体としては受注・生産が上向き傾向で推移している。半導体不足の緩和により受注環境が改善するなか、新規案件の引き合いが増えつつある。そのため、先行きについても、秋口以降の本格的な回復への期待が高まっている。

輸送機械工業生産指数推移

(季節調整済 全国：2020年＝100)
山梨：2015年＝100)



■ 汎 用 ・ 業務用機械



カメラ部品は持ち直し傾向で推移

カメラ部品は、受注・生産が持ち直し傾向で推移している。旅行など外出機会の増加に伴い、カメラ需要も拡大している。そのため、人気のミラーレスカメラ向けや高級一眼レフカメラ向けに堅調な動きがみられる。

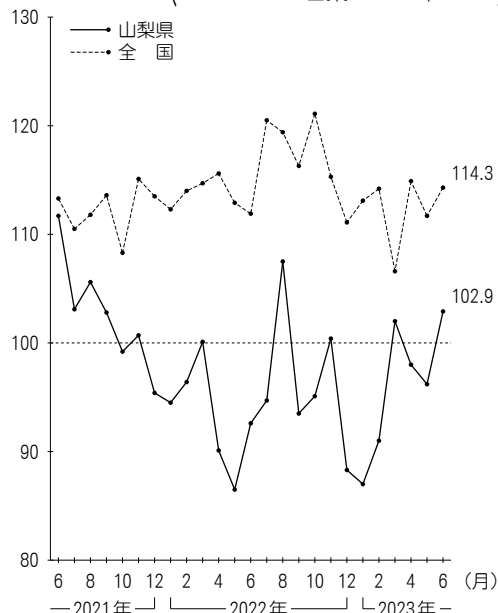
医療機器は、品目によりばらつきがみられるものの、全体としては受注・生産が安定的に推移している。

運搬機械は、海外向けを中心に受注・生産が堅調に推移している。

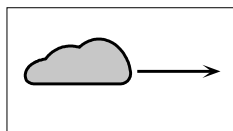
計測機器は、部品・部材等の供給制約が徐々に緩和されつつあるなかで、民間向けの受注・生産が底堅く推移している。

汎用・業務用機械工業生産指数推移

(季節調整済 全国：2020年＝100)
山梨：2015年＝100)



■ 建 設



次世代の担い手確保に注力する事業者も

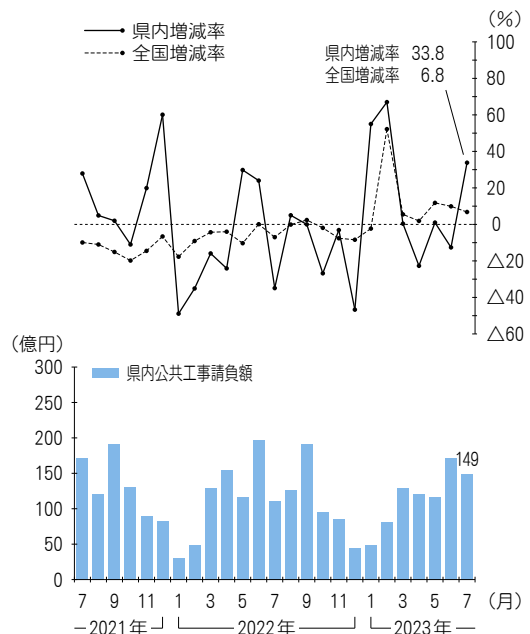
7月の公共工事保証請負額（東日本建設業保証㈱）は148億96百万円、前年同月比33.8%増と、2か月ぶりの増加。発注者別では、市町村（前年同月比96.1%増）が増加した一方、国（同30.9%減）、県（同22.2%減）は減少した。2023年度の累計（2023年4月～7月）は558億21百万円で、前年度を3.7%下回っている。

民間工事は、横ばい圏で推移している。工場など一部に動きがみられるが、建築費の高止まりから、設備投資に対する慎重姿勢が窺われる。

なお、有資格者や職人の高齢化が進んでおり、持続可能な事業活動に向け、次世代の担い手の確保と育成に注力する事業者もみられる。

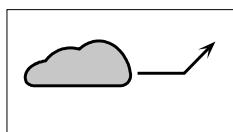
公共工事保証請負額推移

(前年比増減率)



「東日本建設業保証㈱」

■ 商業



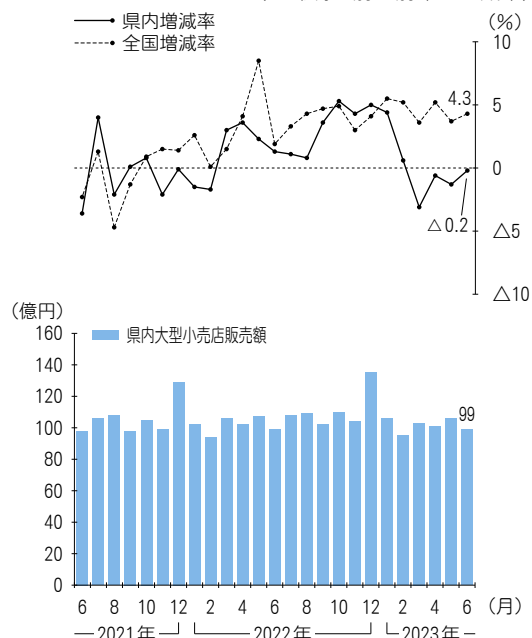
外出機会が増加し関連消費が活発化

7月～8月の商況をみると、5類移行後、初の夏休みシーズンとなり、旅行など外出機会の増加に伴い関連消費が活発化したほか、食料品や衣料品も堅調を維持するなど、持ち直している。

品目別にみると、食料品は、前年を上回る水準で推移。気温の高い日が続くなか、酒類を含む飲料や氷菓、麺類などの夏物商材が好調。また、帰省客や観光客の増加を受け、菓子類など土産品の売上も増加。衣料品は、外出機会の増加により婦人服、紳士服ともに伸長したほか、連日の猛暑から機能性インナーの需要も拡大。家電品は、エアコンなど一部に堅調な動きがみられるものの、全体としては弱含み。

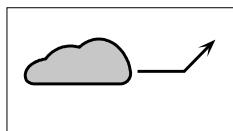
大型小売店販売額推移

(店舗調整前・前年比増減率)



「経済産業省」

■ 観光



夏休み以降は各地で賑わい

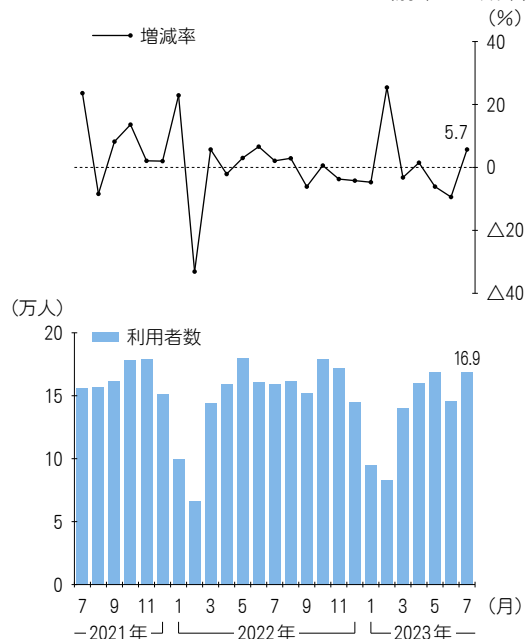
7月の県内観光は、個人向け全国旅行支援終了の反動がみられたものの、夏休み以降は各地で賑わいがみられるなど、全体として入込みは堅調に推移した。

地域別にみると、石和温泉は、キャッシュレス決済のキャンペーン効果により首都圏からの個人客が増加し、付帯消費も活発化。下部温泉は、全国旅行支援終了の反動によりやや弱含んだものの、後半は盛り返し。富士北麓は、世界遺産登録10周年の効果もあり、富士山周辺への観光客の動きが活発化。

なお、お盆のトップシーズンは台風の影響があったものの、宿泊客数は底堅く推移した模様。

県内ゴルフ場利用者数推移

(前年比増減率)



「県税務課」

県内経済トピックス

(8月を中心として)

■ ふるさと納税の寄附総額が増加

総務省は、1日、「ふるさと納税に関する現況調査結果（2023年度実施）」を公表した。

これによると、2022年度の山梨県および県内市町村に対する寄附総額は、321億8,500万円（前年度比14.8%増）となった。市町村別では20市町村で前年度の寄附額を上回っており、最高額は富士吉田市の88億603万円（同22.0%増）で、以下、山梨市の35億8,676万円（同12.3%増）、笛吹市の31億6,301万円（同27.6%増）と続いている。

■ 県一般会計決算、歳入、歳出ともに増加

山梨県は、4日、2022年度の一般会計決算を公表した。

これによると、歳入総額は、前年度に比べて法人事業税が45億円、個人県民税が4億円増加したことなどにより、1.9%増の6,098億円となった。

一方、歳出総額については、新型コロナウイルス感染症の対策関連で衛生費が117億円増加したことなどにより、1.6%増の5,897億円と前年度を上回っている。

■ 最低賃金40円の引上げを答申

山梨地方最低賃金審議会は、7日、県内労働者に適用される最低賃金を昨年度から40円引き上げて、1時間938円とするよう山梨労働局長に答申した。

最低賃金は都道府県で定められ、毎年見直しが行われる。今年度の引上げ幅は昨年を上回り、2002年以降、最大となった。異議の申し出などがなければ10月1日から適用される。なお、厚生労働省によると、改定額の全国加重平均額は1,004円で、43円の引上げとなっている。

■ リニア駅前まちづくり基本方針案を公表

甲府市は、8日、「（仮称）リニア山梨県駅前エリアのまちづくり基本方針（案）」を公表した。

これによると、本方針はリニア駅南側エリアの約11.5haを主な対象としており、「新しいまちづくりの社会実装の舞台とする」、「SDGsを実現するまちづくりを目指す」など10の基本方針を定めている。今後は市民や県民、民間事業者との対話や「（仮称）まちづくり検討委員会」での議論を経て、まちづくり基本計画を策定するとしている。

■ SDGsに積極的な企業が増加

帝国データバンクは、14日、「SDGs（持続可能な開発目標）に関する山梨県内企業の意識調査（2023年）」の結果を発表した。

これによると、SDGsへの理解や取り組みについて、「意味および重要性を理解し、取り組んでいる」、「意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている」を合計した『SDGsに積極的な企業』は、54.0%と前年に比べ4.0ポイント上昇した。同社は、「SDGsに対し、企業が前向きな姿勢を示している」と分析している。

■ お盆期間のJR特急利用状況は前年超え

JR東日本は、18日、お盆期間中（8月10日～17日）のJR利用状況を発表した。

これによると、山梨県の中央線特急利用状況（八王子～相模湖間調べ）は、前年と比べて40%増加した。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響がなかった2018年と比べると8%の減少となっている。同社では、同感染症の5類移行後初のお盆期間となり、前年は上回ったものの、台風接近の影響により2018年の水準には達しなかったとみている。

山梨県の主要経済指標 ①

摘要 年月	県人口 (注1)		県税収入済額 (注2)		鉱工業生産指数		鉱工業出荷指数		鉱工業在庫指数 (注3)		景気動向指数 (CI) (注4)			消費者物価指数 (甲府市)	
	人口	前年比	金額	前年比	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比	先行指数	一致指数	遅行指数	指数	前年比
	人	%	億円	%	2015年=100	%	2015年=100	%	2015年=100	%	2015年=100			2020年=100	%
2020年	809,974	△ 0.3	922	△ 1.5	104.9	△ 3.9	110.9	△ 1.5	143.4	17.3	103.6	98.6	82.3	100.0	△ 0.5
2021年	805,338	△ 0.6	976	5.8	125.4	19.5	133.3	20.2	154.7	7.9	123.0	112.3	97.3	99.3	△ 0.7
2022年	801,620	△ 0.5	1,016	4.1	130.8	4.3	139.5	4.7	175.5	13.4	123.6	120.5	107.1	101.6	2.3
2022. 7	802,088	△ 0.5	84	△ 5.3	134.2	5.8	141.6	6.8	192.4	36.4	133.6	122.9	95.6	101.7	2.9
8	802,098	△ 0.5	64	5.2	134.9	11.1	145.2	13.0	186.7	30.5	140.6	126.9	101.4	102.1	3.2
9	801,878	△ 0.5	52	2.2	133.3	5.5	143.6	9.1	193.4	28.8	137.5	127.5	99.3	102.5	3.4
10	801,620	△ 0.5	66	△ 1.3	131.2	1.6	139.1	2.0	193.4	31.7	135.6	128.5	101.6	103.2	4.5
11	801,619	△ 0.4	64	△ 12.4	124.1	△ 7.1	129.6	△ 7.3	198.9	34.2	128.6	125.2	103.6	103.6	4.4
12	801,090	△ 0.5	134	27.3	117.4	△ 13.2	124.6	△ 12.2	182.0	13.4	123.6	120.5	107.1	103.5	4.4
2023. 1	800,400	△ 0.5	74	△ 3.8	112.4	△ 15.2	120.2	△ 14.7	212.0	16.4	122.5	116.1	102.7	103.9	4.4
2	799,238	△ 0.5	39	1.3	123.6	△ 4.1	133.2	△ 2.1	287.6	58.7	122.3	118.3	103.3	103.4	3.5
3	798,194	△ 0.5	54	△ 4.8	124.4	△ 8.1	145.6	2.6	247.8	16.0	126.5	118.8	107.2	103.7	3.4
4	796,231	△ 0.5	57	△ 2.3	115.0	△ 16.1	126.0	△ 13.2	212.2	10.7	133.4	119.6	108.0	104.3	3.6
5	796,893	△ 0.6	93	△ 30.0	109.8	△ 12.2	120.2	△ 13.5	220.5	19.4	127.4	117.6	99.8	104.6	3.6
6	796,581	△ 0.7	191	12.2	106.9	△ 20.6	116.2	△ 20.8	220.7	31.2	128.5	112.4	101.5	104.8	3.6
7	796,272	△ 0.7	86	2.0											
出所	県統計調査課		県税務課		県統計調査課						県統計調査課			県統計調査課	

全国の主要経済指標 ①

摘要 年月	人口 (注1)		租 税 収 入 (注2)		鉱工業生産指数		鉱工業出荷指数		鉱工業在庫指数 (注3)		景気動向指数 (CI) (注4)			消費者物価指数	
	人口	前年比	金額	前年比	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比	先行指数	一致指数	遅行指数	指数	前年比
	千人	%	億円	%	2020年=100	%	2020年=100	%	2020年=100	%	2020年=100			2020年=100	%
2020年	125,708	△ 0.4	608,216	4.1	100.0	△ 10.4	100.0	△ 10.7	92.6	△ 8.3	109.5	103.9	96.0	100.0	0.0
2021年	125,502	△ 0.2	670,379	10.2	105.4	5.4	104.4	4.4	98.5	6.4	115.6	111.8	100.5	99.8	△ 0.2
2022年	124,947	△ 0.4			105.3	△ 0.1	103.9	△ 0.5	101.2	2.7	108.9	113.5	104.5	102.3	2.5
2022. 7	125,125	△ 0.4	69,133	10.5	106.3	△ 1.8	104.9	△ 2.1	100.6	5.1	111.4	114.0	102.5	102.3	2.6
8	125,082	△ 0.4	59,982	10.4	107.8	5.7	105.7	5.5	101.7	6.2	112.9	115.2	103.7	102.7	3.0
9	124,971	△ 0.5	38,515	9.0	107.3	8.7	105.0	9.6	103.4	6.2	110.8	114.6	104.0	103.1	3.0
10	124,947	△ 0.4	45,590	6.8	105.5	3.1	104.4	4.7	103.2	5.0	110.7	114.2	104.1	103.7	3.7
11	124,913	△ 0.4	99,950	21.9	105.5	△ 1.4	104.0	△ 0.8	103.2	3.5	109.6	113.8	104.6	103.9	3.8
12	124,861	△ 0.4	41,140	6.4	104.9	△ 2.2	102.8	△ 3.1	103.1	2.7	108.9	113.5	104.5	104.1	4.0
2023. 1	124,752	△ 0.4	64,483	0.2	100.8	△ 2.8	99.5	△ 2.9	102.4	2.4	108.0	111.5	105.2	104.7	4.3
2	124,631	△ 0.4	6,097	7.0	104.5	△ 0.6	103.8	0.7	103.4	1.6	108.9	114.2	104.9	104.0	3.3
3	124,567	△ 0.4	3,486	0.2	104.8	△ 0.8	104.7	0.0	103.8	2.3	108.0	114.1	105.0	104.4	3.2
4	p124,470	△ 0.5	61,096	△ 0.9	105.5	△ 0.7	104.5	△ 1.3	103.7	6.0	108.1	114.2	105.6	105.1	3.5
5	p124,500	△ 0.5	107,294	△ 4.6	103.2	4.2	103.3	4.0	105.6	7.3	109.1	114.3	107.2	105.1	3.2
6	p124,520	△ 0.5	2,663	3.5	105.7	0.0	105.0	0.8	105.8	5.9	108.9	115.1	107.3	105.2	3.3
7	p124,560	△ 0.5			p103.6	△ 2.5	p102.8	△ 2.0	p106.7	6.0				105.7	3.3
出所	総務省		財務省		経済産業省						内閣府			総務省	

(注1) 年数値は10月1日現在 (注2) 年数値は年度計 (注3) 年数値は年平均 (注4) 年数値は12月現在 (注5) pは速報値

山梨県の主要経済指標 ②

摘要 年月	大型小売店販売額 (店論調整前)		コンビニエンスストア 販売額		家電大型専門店 販売額		ドラッグストア 販売額		ホームセンター 販売額		新車登録台数(除軽白)				軽自動車 販売台数	
	金額		金額		金額		金額		金額		合 計		乗 用 車			
	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比
2020 年	1,189	1.9	875	△ 5.6	214	12.3	578	6.9	314	13.8	19,714	△ 10.3	16,861	△ 11.2	14,915	△ 8.9
2021 年	1,248	0.7	893	2.0	221	3.2	541	△ 6.5	324	3.2	20,081	1.9	16,605	△ 1.5	14,249	△ 4.5
2022 年	1,277	2.3	936	4.8	225	1.9	581	7.6	329	1.6	17,688	△ 11.9	14,903	△ 10.2	14,364	0.8
2022. 7	108	1.1	84	5.3	21	△ 2.3	52	10.2	28	△ 0.1	1,460	△ 23.0	1,224	△ 20.8	1,225	10.4
8	109	0.8	86	7.7	18	△ 2.4	53	10.7	27	1.1	1,228	△ 16.2	1,058	△ 12.0	1,041	12.7
9	102	3.6	79	2.8	18	6.5	48	9.1	24	△ 3.3	1,656	18.3	1,412	29.8	1,386	55.9
10	110	5.3	81	8.1	17	4.0	48	8.8	28	1.6	1,467	15.5	1,287	29.3	1,328	52.3
11	104	4.3	78	7.2	17	2.0	49	7.6	26	△ 0.2	1,491	△ 4.4	1,295	0.3	1,352	18.8
12	135	5.0	84	5.4	23	△ 2.5	54	12.1	35	2.7	1,406	△ 8.3	1,226	△ 4.2	1,163	15.1
2023. 1	106	4.4	76	5.5	21	△ 8.7	48	6.6	24	△ 3.8	1,553	△ 3.9	1,366	6.2	1,361	31.0
2	95	0.6	70	7.2	16	0.8	46	3.1	22	△ 5.2	1,878	29.8	1,598	40.2	1,459	27.4
3	103	△ 3.1	80	6.9	20	△ 2.9	47	3.0	26	△ 3.8	2,498	4.3	2,157	6.5	1,810	16.2
4	101	△ 0.6	80	7.3	16	△ 4.6	50	7.1	31	4.7	1,599	35.7	1,391	36.5	1,299	26.1
5	106	△ 1.3	83	5.7	16	△ 3.7	50	6.4	30	△ 2.1	1,462	34.7	1,270	41.9	1,165	34.4
6	99	△ 0.2	80	3.2	15	△ 11.8	51	5.7	26	△ 1.8	1,693	34.5	1,435	38.5	1,203	△ 2.3
7	p109	1.5	p90	6.1	p21	2.0	p54	4.0	p29	5.7	1,786	22.3	1,539	25.7	1,115	△ 9.0
出所	経済産業省										山梨県自動車販売店協会				県軽自動車協会	

全国の主要経済指標 ②

摘要 年月	大型小売店販売額 (店論調整前)		コンビニエンスストア 販売額		家電大型専門店 販売額		ドラッグストア 販売額		ホームセンター 販売額		新車登録台数(除軽白)				軽自動車 販売台数	
	金額		金額		金額		金額		金額		合 計		乗 用 車			
	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	千台	前年比	千台	前年比	千台	前年比
2020 年	195,050	△ 6.6	116,423	△ 4.4	47,928	5.1	72,841	6.6	34,964	6.8	2,902	△ 12.3	2,473	△ 12.2	1,718	△ 10.1
2021 年	199,071	0.6	117,601	1.3	46,867	△ 2.3	73,066	0.3	33,905	△ 3.0	2,820	△ 2.8	2,394	△ 3.2	1,653	△ 3.8
2022 年	206,603	3.2	121,996	3.8	46,844	0.0	77,087	5.5	33,420	△ 1.4	2,586	△ 8.3	2,218	△ 7.3	1,638	△ 0.9
2022. 7	17,704	3.3	10,844	3.4	4,250	△ 3.9	6,764	6.8	2,874	△ 2.2	216	△ 13.3	186	△ 12.2	135	3.8
8	16,776	4.3	10,720	5.2	3,614	△ 2.3	6,774	5.3	2,742	△ 1.1	181	△ 13.3	154	△ 12.1	111	△ 1.9
9	16,299	4.7	10,206	2.3	3,777	6.4	6,369	5.6	2,569	△ 3.2	244	17.7	211	24.9	153	35.6
10	17,326	4.9	10,577	6.5	3,516	0.1	6,446	6.0	2,846	1.7	214	19.5	186	23.9	148	43.9
11	17,590	3.0	10,324	7.9	3,589	0.3	6,373	7.9	2,673	△ 1.3	224	1.0	192	2.3	156	16.8
12	22,266	4.1	11,014	3.9	4,845	2.5	7,314	11.1	3,396	2.9	211	△ 4.4	180	△ 5.5	135	15.0
2023. 1	17,681	5.5	9,924	4.1	4,184	△ 0.3	6,482	5.0	2,469	△ 1.4	231	10.7	202	11.3	153	24.7
2	15,820	5.2	9,265	6.2	3,467	1.3	6,126	5.6	2,248	0.1	272	26.2	236	28.2	157	11.3
3	17,669	3.6	10,562	6.0	4,285	△ 4.6	6,713	7.8	2,680	0.3	381	15.6	329	16.0	194	4.5
4	17,095	5.2	10,395	5.3	3,416	△ 3.9	6,744	9.0	2,997	0.4	221	22.7	193	25.8	130	7.2
5	17,437	3.7	10,633	5.5	3,506	△ 4.7	6,849	9.0	3,040	△ 2.0	208	27.8	179	32.0	120	20.0
6	17,461	4.3	10,506	3.6	3,656	△ 6.3	6,973	9.4	2,760	△ 1.8	262	31.1	226	33.9	133	2.0
7	p18,741	5.9	p11,403	5.2	p4,463	5.0	p7,456	10.2	p3,024	5.2	255	18.1	221	18.8	126	△ 6.9
出所	経済産業省										日本自動車販売協会連合会				全国軽自動車協会連合会	

(注1) p は速報値

山梨県の主要経済指標 ③

年月	家 計（勤労者世帯）（注１）				現金給与総額 （規模 30 人以上）		所定外労働時間 （規模 30 人以上） （製造業）		推計常用労働者 （規模 30 人以上）		新規求職者数 （注 2）		新規求人数 （注 2）		求人倍率 （注 2）		雇 用 保 険 受給者実人員 （注 2）	
	消費支出金額		同実質指数		金額	指 数 前年比	時間	指 数 前年比	人数	指 数 前年比	人数	前年比	人数	前年比	新規	有効	人数	前年比
	金額	前年比	指数	前年比														
	円	%	%	%	円	%	時間	%	人	%	人	%	人	%	倍		人	%
2020 年	306,085	△ 6.8	100.0	△ 6.3	327,178	△ 1.0	16.5	△ 12.3	156,248	△ 1.6	36,079	△ 3.5	60,098	△ 18.5	1.67	1.01	36,914	32.9
2021 年	313,311	2.4	103.1	3.1	333,746	2.2	18.5	11.5	152,400	△ 2.5	35,022	△ 2.9	70,440	17.2	2.01	1.26	29,478	△ 20.1
2022 年	322,243	2.9	103.6	0.5	341,276	2.0	19.3	4.8	154,771	1.4	34,880	△ 0.4	77,323	9.8	2.22	1.41	27,306	△ 85.3
2022. 7	271,472	△ 9.7	87.2	△ 12.3	381,364	5.3	19.8	6.2	155,747	1.1	2,530	△ 3.9	6,193	13.9	2.31	1.41	2,493	△ 9.8
8	308,489	△ 7.1	98.7	△ 9.9	286,430	3.1	19.7	18.3	155,628	5.9	2,725	3.5	5,810	18.3	2.32	1.42	2,638	△ 4.4
9	265,829	△ 8.7	84.7	△ 11.7	277,081	△ 1.9	20.2	8.8	154,729	1.4	2,805	0.8	7,497	21.6	2.45	1.45	2,510	△ 3.1
10	296,452	△ 4.3	93.8	△ 8.4	286,957	2.8	20.4	4.8	154,276	1.0	2,827	△ 7.8	6,428	4.1	2.31	1.45	2,334	△ 4.1
11	389,447	△ 11.7	122.8	△ 15.4	285,484	2.1	19.9	5.0	152,127	1.9	2,506	△ 7.9	5,476	0.8	2.32	1.45	2,294	△ 0.9
12	409,200	11.2	129.2	6.6	647,375	2.1	17.7	2.0	155,067	4.1	2,121	△ 5.8	6,791	12.2	2.52	1.45	2,207	△ 4.0
2023. 1	326,711	△ 8.1	102.7	△ 12.0	282,126	0.1	16.4	△ 5.8	149,762	△ 3.1	3,441	1.6	7,014	5.3	2.12	1.45	2,120	△ 3.9
2	266,863	△ 6.6	84.3	△ 9.8	279,643	1.3	17.7	△ 3.8	149,635	△ 3.0	3,199	7.3	6,344	7.9	1.99	1.45	2,109	△ 3.3
3	341,225	△ 9.4	107.5	△ 12.4	290,988	1.7	19.1	△ 4.9	149,093	△ 3.0	3,294	△ 3.7	6,682	△ 6.0	2.00	1.34	2,155	△ 0.7
4	320,873	△ 10.2	100.5	△ 13.3	289,251	4.6	19.2	△ 1.0	150,196	△ 3.4	3,638	△ 0.3	6,411	7.4	2.22	1.38	2,178	7.5
5	311,248	9.5	97.2	5.6	284,737	1.6	16.4	△ 10.9	147,572	△ 5.1	3,008	1.6	5,827	△ 2.1	2.18	1.35	2,431	17.1
6	367,745	38.1	114.6	33.2	p524,828	△ 0.4	p15.5	△ 22.9	p147,451	△ 5.5	2,835	0.5	6,264	△ 12.6	1.93	1.27	2,715	15.8
7											2,520	△ 0.4	5,505	△ 11.1	2.09	1.23	2,873	15.2
出所	総務省				県統計調査課						山梨労働局							

全国の主要経済指標 ③

年月	家 計（勤労者世帯）				現金給与総額 （規模 30 人以上）		所定外労働時間 （規模 30 人以上） （製造業）		推計常用労働者 （規模 30 人以上）		新規求職者数 （注 2）		新規求人数 （注 2）		求人倍率 （注 2）		完全失業者	
	消費支出金額		平均消費性向		金額	指 数 前年比	時間	指 数 前年比	人数	指 数 前年比	人数	前年比	人数	前年比	新規	有効	失業者数	失業率
	金額	前年比 （実質）	平均消費性 向	前年比														
	円	%	%	ポイント	円	%	時間	%	千人	%	千人	%	千人	%	倍		万人	%
2020 年	305,811	△ 5.6	38.7	△ 29.2	365,100	△ 1.7	13.4	△ 19.8	29,613	0.3	4,626	△ 1.8	8,771	△ 20.8	1.90	1.10	191	2.8
2021 年	309,469	1.2	37.2	△ 1.5	368,493	0.9	15.3	14.2	29,547	△ 0.2	4,630	0.1	9,629	9.8	2.08	1.16	193	2.8
2022 年	320,627	3.6	36.0	△ 1.2	379,732	3.0	16.0	4.6	29,317	△ 0.8	4,586	△ 1.0	10,528	9.3	2.30	1.31	179	2.6
2022. 7	317,575	4.9	60.2	4.0	439,461	3.3	16.1	△ 1.8	29,479	△ 0.6	341	△ 5.0	855	12.8	2.32	1.28	176	2.6
8	322,438	9.6	70.4	5.4	313,414	2.4	15.1	0.0	29,399	△ 0.6	358	1.3	839	15.1	2.30	1.31	177	2.5
9	313,989	6.2	77.7	1.8	314,098	3.1	16.1	8.1	29,361	△ 0.5	362	△ 1.7	888	9.8	2.30	1.32	187	2.6
10	328,684	5.1	70.0	1.8	312,841	2.4	16.5	9.3	29,373	△ 0.5	362	△ 6.3	925	7.9	2.33	1.34	178	2.6
11	308,122	1.3	75.5	△ 1.7	328,417	2.9	16.6	3.1	29,391	△ 0.4	331	△ 6.4	865	8.7	2.38	1.35	165	2.5
12	353,794	2.8	37.2	△ 0.1	702,042	5.0	16.5	△ 0.6	29,405	△ 0.3	290	△ 6.4	849	4.8	2.38	1.36	158	2.5
2023. 1	331,130	5.3	81.8	2.4	315,917	2.4	14.5	△ 2.7	29,319	△ 0.0	405	△ 2.7	939	4.2	2.38	1.35	164	2.4
2	298,749	4.7	64.4	1.1	309,496	1.4	15.6	△ 6.0	29,275	0.6	404	5.8	926	10.4	2.32	1.34	174	2.6
3	340,016	△ 1.1	83.5	0.2	335,655	1.5	15.8	△ 6.0	29,095	0.7	420	△ 3.9	898	0.7	2.29	1.32	193	2.8
4	334,229	△ 2.9	73.9	△ 4.9	324,953	1.0	15.5	△ 7.2	29,577	0.7	501	△ 3.2	841	△ 0.9	2.23	1.32	190	2.6
5	311,830	△ 1.0	90.2	2.6	327,254	4.2	14.1	△ 2.1	29,644	0.9	405	△ 0.8	834	3.8	2.36	1.31	188	2.6
6	298,405	△ 0.7	41.1	0.3	580,898	3.4	14.9	△ 3.2	29,656	0.6	367	△ 4.9	874	△ 2.1	2.32	1.30	179	2.5
7											342	0.5	833	△ 2.5	2.27	1.29	183	2.7
出所	総務省				厚生労働省										総務省			

（注 1）調査世帯数などの影響から前年比が大きく変動する場合があります。（注 2）年数値は年度計または年度平均（注 3）p は速報値

山梨県の主要経済指標 ④

摘要 年月	新設住宅着工戸数						着工建築物床面積 (除く居住専用)		公共工事 保証請負額 (注1)		企業倒産				金融機関勘定(注2)			
	合計		持家		貸家										預金		貸出	
	戸数	前年比	戸数	前年比	戸数	前年比	面積	前年比	金額	前年比	件数	前年比	負債総額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	戸	%	戸	%	戸	%	m ²	%	億円	%	件	%	百万円	%	億円	%	億円	%
2020年	4,101	△15.3	2,729	△12.2	815	△19.1	229,784	△46.3	1,390	△3.4	31	△24.4	6,856	△30.3	49,567	8.8	20,003	6.5
2021年	4,513	10.0	2,997	9.8	960	17.8	428,888	86.6	1,445	4.0	19	△38.7	5,681	△17.1	51,037	3.2	19,992	△0.1
2022年	4,669	3.5	2,824	△5.8	1,241	29.3	289,533	△32.5	1,381	△4.4	24	26.3	5,452	△4.0	52,216	2.3	21,015	5.1
2022. 7	398	△30.5	231	△22.5	126	△37.3	24,148	22.4	111	△34.9	4	300.0	652	858.8	52,269	3.4	20,663	3.6
8	402	8.4	260	△11.9	94	168.6	45,363	67.8	126	5.0	4	0.0	93	△96.3	52,184	3.2	20,743	4.9
9	319	△19.4	254	△5.9	24	△75.3	18,771	△85.7	191	0.0	3	200.0	1,041	1453.7	51,778	3.2	20,873	5.2
10	537	9.4	279	0.4	214	29.7	26,105	△1.5	95	△26.8	2	△50.0	200	△58.5	51,729	2.9	20,803	5.2
11	440	40.1	237	0.4	161	403.1	14,994	△41.3	86	△3.1	4	300.0	194	198.5	52,036	3.0	20,874	5.3
12	351	△13.8	212	△27.1	108	89.5	28,717	72.0	44	△46.7	0	-	0	-	52,216	2.3	21,015	5.1
2023. 1	288	△7.1	197	△6.6	61	29.8	7,379	29.9	49	55.0	0	-	0	-	51,799	2.5	21,040	5.6
2	330	△18.9	222	△0.9	56	△52.9	18,581	△55.8	81	67.0	1	-	31	-	51,638	2.4	21,072	5.4
3	301	△19.7	214	12.6	48	△63.6	11,054	△34.7	129	0.4	3	0.0	650	△43.5	51,974	1.8	21,757	5.3
4	347	2.1	207	16.3	81	72.3	24,661	△18.5	120	△22.7	3	200.0	1,760	780.0	52,589	2.0	21,515	5.8
5	345	△1.1	186	△28.2	95	43.9	13,618	△45.5	117	1.0	1	-	27	-	52,766	2.0	21,767	6.6
6	480	8.8	257	△11.1	164	59.2	16,065	39.6	172	△12.6	2	0.0	241	138.6				
7	339	△14.8	222	△3.9	78	△38.1	15,055	△37.7	149	33.8	2	△50.0	607	△6.9				
出所	国土交通省								東日本建設業保証		東京商工リサーチ				日本銀行			

全国の主要経済指標 ④

摘要 年月	新設住宅着工戸数						着工建築物床面積 (除く居住専用)		公共工事 保証請負額 (注1)		企業倒産				金融機関勘定(注2)			
	合計		持家		貸家										預金		貸出	
	戸数	前年比	戸数	前年比	戸数	前年比	面積	前年比	金額	前年比	件数	前年比	負債総額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	百戸	%	百戸	%	百戸	%	千m ²	%	億円	%	件	%	億円	%	百億円	%	百億円	%
2020年	8,153	△9.9	2,611	△9.6	3,068	△10.4	47,691	△11.1	153,658	△2.5	7,773	△7.3	12,200	△14.3	87,268	9.1	53,638	2.2
2021年	8,565	5.1	2,856	9.4	3,214	4.8	51,894	8.8	140,503	△5.2	6,030	△22.4	11,507	△5.7	90,384	3.6	54,222	1.1
2022年	8,595	0.4	2,533	△11.3	3,451	7.4	51,430	△0.9	139,937	△3.2	6,428	6.6	23,314	2.6	93,224	3.1	56,545	4.3
2022. 7	730	△5.4	224	△14.1	297	1.5	5,366	25.1	12,924	△7.0	494	3.8	846	18.3	92,782	3.4	55,306	3.0
8	777	4.6	223	△11.2	313	8.9	4,495	33.9	11,562	△0.1	492	5.6	1,114	22.5	92,818	3.3	55,446	3.5
9	739	1.0	222	△13.3	306	8.1	3,870	△1.4	12,985	2.4	599	18.6	1,449	59.4	92,307	2.9	55,862	3.9
10	766	△1.8	218	△18.7	320	7.3	3,962	△31.2	10,558	△1.9	596	13.5	870	△11.6	93,060	3.4	56,002	4.2
11	724	△1.4	215	△15.1	299	11.4	3,851	△2.7	6,961	△7.6	581	13.9	1,156	22.8	94,006	3.8	56,126	4.1
12	672	△1.7	198	△13.0	268	6.4	3,666	△26.2	6,283	△8.4	606	20.2	792	△15.0	93,224	3.1	56,545	4.3
2023. 1	636	6.6	166	△8.3	240	4.2	4,581	19.6	5,088	△2.3	570	26.1	565	△15.6	93,847	3.6	56,509	4.5
2	644	△0.3	184	△4.6	247	4.7	3,922	△2.8	8,978	52.2	577	25.7	966	36.0	94,037	3.5	56,673	4.4
3	737	△3.2	175	△13.6	326	0.9	3,097	△20.6	15,301	5.5	809	36.4	1,474	△13.1	95,712	3.6	57,031	4.0
4	673	△11.9	186	△11.6	287	△2.8	5,042	△5.0	20,480	1.9	610	25.5	2,039	150.9	96,480	4.0	57,110	4.4
5	696	3.5	189	△11.5	287	10.5	3,582	△13.1	14,163	11.8	706	34.7	2,787	219.0	96,715	3.9	57,160	4.2
6	710	△4.8	203	△12.4	301	△0.6	3,620	△27.7	18,151	9.9	770	41.0	1,509	△87.8	96,201	3.8	57,336	3.9
7	682	△6.7	207	△7.8	302	1.6	3,944	△26.5	13,802	6.8	758	53.4	1,621	91.7	96,463	4.0	57,479	3.9
出所	国土交通省								東日本・西日本・北海道建設業保証		東京商工リサーチ				日本銀行			

(注1) 年数値は年度計 (注2) 年数値は年末残高

駐在員レポート

ラバーダック・プロジェクトについて

私は、2023年6月から静岡銀行香港支店に出向し、香港に駐在しています。赴任後2か月が経過しましたが、初めての海外生活であり、毎日新しい経験の連続です。その中で、私が香港に入境したのと同時期に、世界中を旅する Rubber Duck（ラバーダック）が10年ぶりに香港に再登場しました。そこで、今回はこのラバーダックを通じたプロジェクトについてご紹介します。

ラバーダックとは、オランダの芸術家 F・ホフマン氏が手がけた、ラバーやテント生地で作られた子アヒルの巨大オブジェです。2007年からヨーロッパ、アジア、オセアニア、アメリカ、中東などの世界各地で展示されています。この巨大オブジェを世界の公共の河川や海辺に浮かべ、街並みを背景としたパブリックアートとして展示することが「ラバーダック・プロジェクト」であり、コンセプトは、「政治的な意味合いで分断される国境も無く、年齢や人種など、異なった背景を持つすべての人々に癒しを与え、子供のころの記憶や思い出を呼び起こさせる、幸福の象徴であること」です。

今回のプロジェクトでは、本年6月10日から約2週間、2羽のラバーダックが香港のビクトリアハーバーに浮かべられました。「Double Ducks（ダブルダックス）」と銘打たれた2羽は、それぞれ「友好」と「人々のつながり」が表現されていたとのこと。私が見に行った際は、残念ながら1羽はしぼんでしまっており、2羽並んでの実物は見ることはできませんでした。

また中環（セントラル）、銅鑼灣（コーズウェイベイ）、尖沙咀（チムシャーツイ）など、香港各地の MTR（地下鉄）の主要駅でもラバーダックをモチーフにしたアートが登場しました。そして、金鐘（アドミラルティ）駅はダブルダックス駅、同駅の E 出口は「ダブルダックスルート」と名前を変え、窓からはビクトリアハーバーに浮かべられたダブルダックスを眺めることができました。まだまだ香港初心者私でも、域内の雰囲気が華やかになっていることが感じられました。

今後、ラバーダックは9月にカナダ・トロント、11月には大阪に登場予定となっています。機会があれば、ぜひ巨大な子アヒルに会いに行ってみてはいかがでしょうか。

香港では、入境規制が緩和されて以降、徐々に日本からの出張者や中国からの観光客が増加しているように感じます。長期にわたるコロナ禍の収束を受け、今後旅行に行く方も多いと思います。その中で、国境を越えることに対する抵抗や不安を少しでも緩和でき、また、人々のつながりを大切に、有意義な休日をお過ごしいただければと思います。今回「ラバーダック・プロジェクト」をご紹介しました。次回以降も現地でしか知り得ない情報など、皆さまにとって有益な情報をご紹介します。

〈金鐘（アドミラルティ）駅の様子〉



〈ビクトリアハーバーに浮かぶラバーダック〉



（出所：筆者撮影）

発行 山 梨 中 央 銀 行
編集 山梨中銀経営コンサルティング

〒400-0031 甲府市丸の内一丁目20番8号
☎ (055) 224 - 1032
山梨中央銀行 URL：
<https://www.yamanashibank.co.jp/>